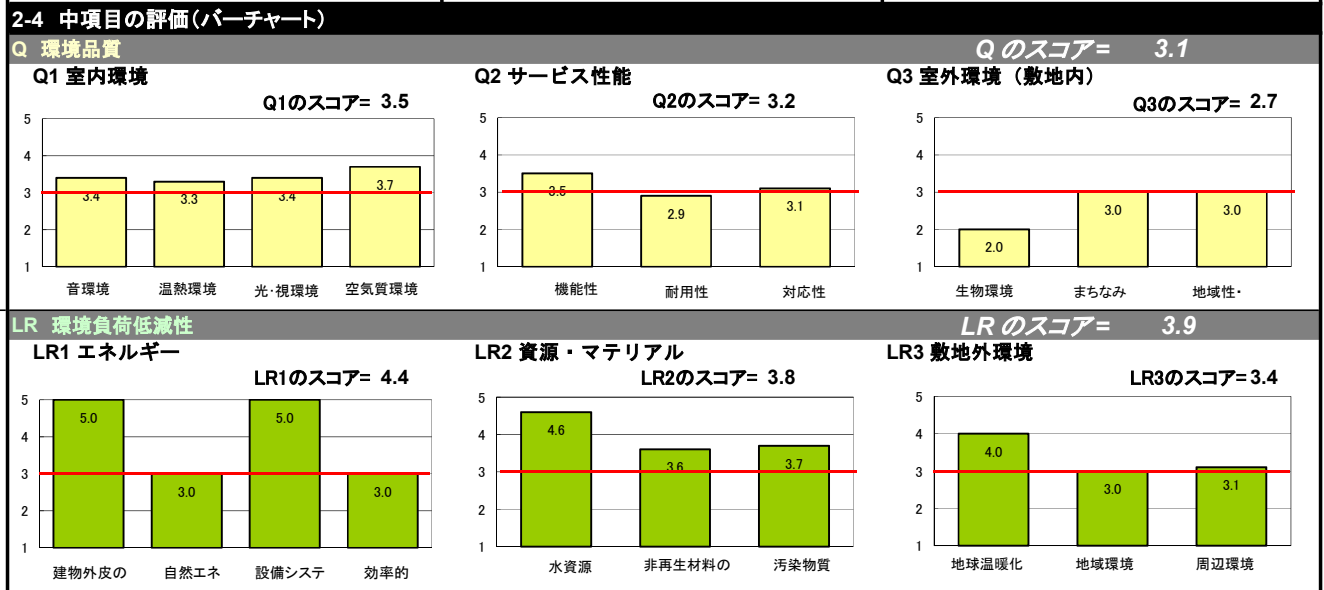
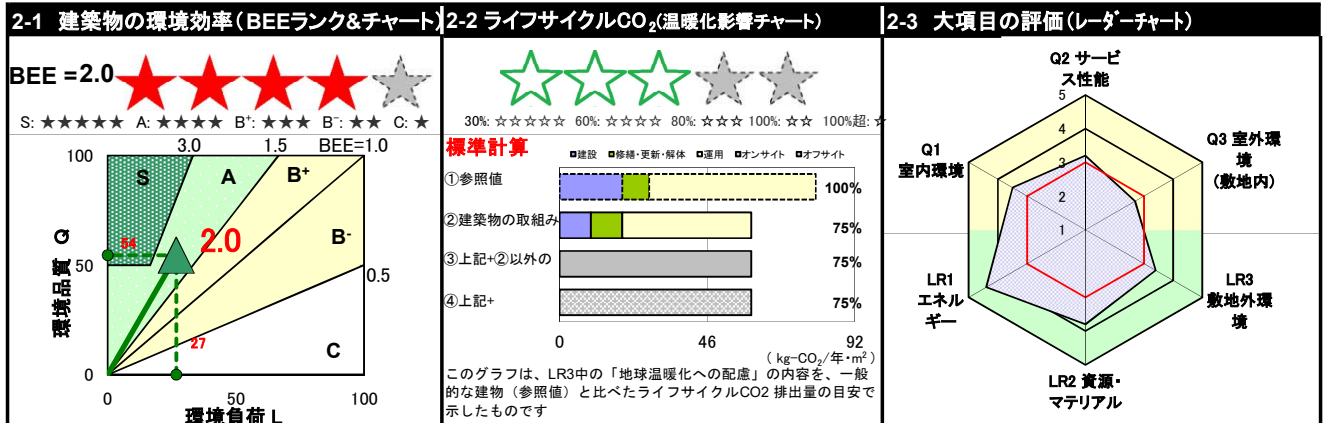




評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	豊四季台団地(建替)第V-A期 第3住宅建設工事 B棟	階数	地上8F
建設地	千葉県柏市豊四季台四丁目937-1(地名地番)	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、防火地域指定なし	平均居住人員	168 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2024年4月5日
敷地面積	2,653 m ²	作成者	株木建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	803 m ²	確認日	
延床面積	3,502 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合	敷地内に可能な限り緑を配置し、環境に配慮した設計とした。	その他 特になし。
Q1 室内環境	住宅性能表示基準、省エネルギー対策等級6。 建材はシックハウス対策としてF☆☆☆☆を採用。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺の街並みに調和するよう配慮
LR1 エネルギー	潜熱回収型ガス給湯暖房機を採用している為、省エネルギーを実現している。	LR3 敷地外環境 低Noxの排出量を抑えた給湯器を採用し、敷地外の環境に配慮。
Q2 サービス性能	配管類は硬質塩化ビニルライニング鋼管など耐用年数の長いものを採用し、更新間隔を長くしている。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げ材が分別可能となっている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

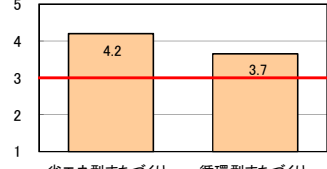
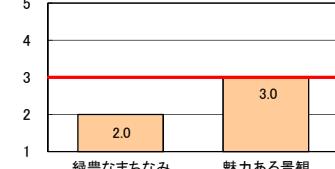
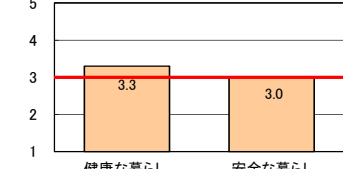


評価結果

■使用評価マニュアルASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1 建物概要			
建物名称	豊四季台団地(建替)第V-A期 第3住宅建設工事 B棟	建築物の環境効率 (BEEランク)	A ★★★★★

2 重点項目への取組み度			
重点項目	取組み度 ※ (得点/満点)	評価結果	
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	 3.9 / 5.0	ふつう	
K2 うるおいのある景観をつくる	 2.5 / 5.0	がんばろう	
K3 安全で健康な生活環境をつくる	 3.1 / 5.0	ふつう	
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)		すばらしい 4点以上	
		ふつう 3点以上	
		がんばろう 3点未満	

3. 中項目の評価(バーチャート)			
K: 柏市の重点項目			
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	K2 うるおいのある景観をつくる	K3 安全で健康な生活環境をつくる	
			

4. 設計上の配慮事項			
K1 地球環境にやさしい社会をつくる		スコアシート	
・断熱性能を高めて省エネ型まちづくりに配慮する		1. 省エネ型まちづくり	
		1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1)	スコア 5.0
		1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2)	スコア 3.0
		1.3 設備システムの高効率化(LR1-3)	スコア 5.0
		1.4 効率的な運用(LR1-4)	スコア 3.0
・廃棄物保管スペースの確保や分別回収容器の設置により循環型まちづくりに配慮する		2. 循環型まちづくり	
		2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1)	スコア 5.0
		2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1)	スコア 3.0
		2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2)	スコア 3.6
		2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4)	スコア 3.0
K2 うるおいのある景観をつくる		スコアシート	
・緑地を可能な限り豊富に設け敷地内のみどり豊かなまちなみに配慮する		1. 緑豊かなまちなみ	
		1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1)	スコア 2.0
・緑地による良好な景観を形成することで魅力ある景観に配慮する		2. 魅力ある景観	
		2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2)	スコア 3.0
		2.2 水空間の創出	設置の有無 -
		2.3 道路沿いの緑化	緑視率の確保 -
K3 安全で健康な生活環境をつくる		スコアシート	
・バリアフリー新法の円滑化基準を満足することにより、健康な暮らしに配慮する		1. 健康な暮らし	
		1.1 空気質環境(Q1-4)	スコア 3.6
		1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3)	スコア 3.0
・特になし		2. 安全な暮らし	
		2.1 耐震・免震(Q2-2.1)	スコア 3.0
		2.2 防犯対策	防犯性の配慮 -